

鳥取県病原微生物検出情報

(令和5年10月検出分；検体採取 令和5年9月～10月)

令和5年11月17日

鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体5件（検体採取10月上旬から10月下旬）について検査を実施したところ、インフルエンザAH3型が4件検出され、残り1件からインフルエンザウイルスは検出されなかった。（詳細は表1のとおり）

表1 2023/2024 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別				備考
年	月日			A(H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	
2023	9月11日	西部	1	1	0	0	0	
	10月6日	西部	4	0	4	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2023/9/4～現在)			5	1	4	0	0	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（11月6日作成）によると、2023/24シーズンはAH3型が最も多く検出されている。なお、2022/23シーズンもAH3型が最も多く報告されている。（図1、図2）

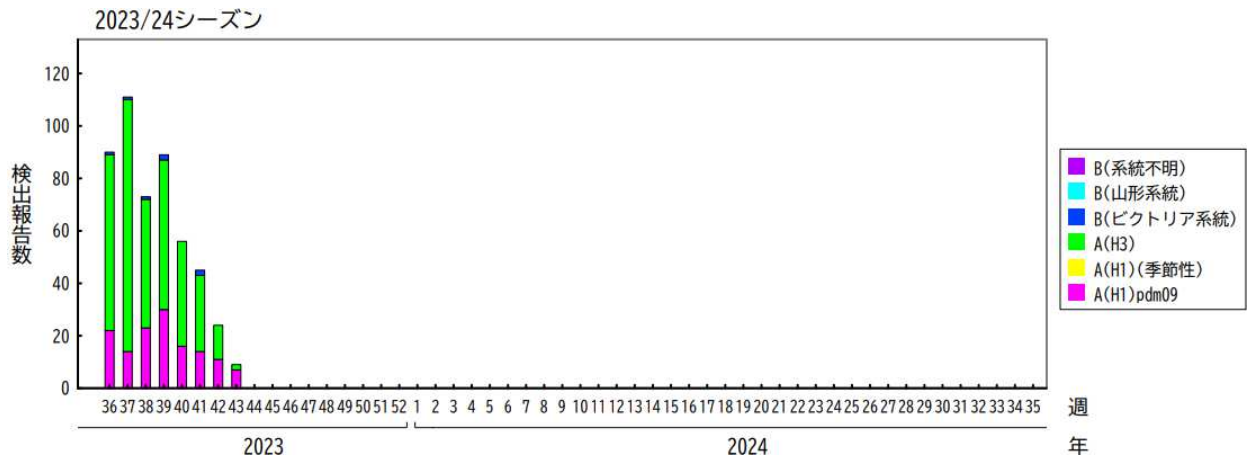


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24シーズン）

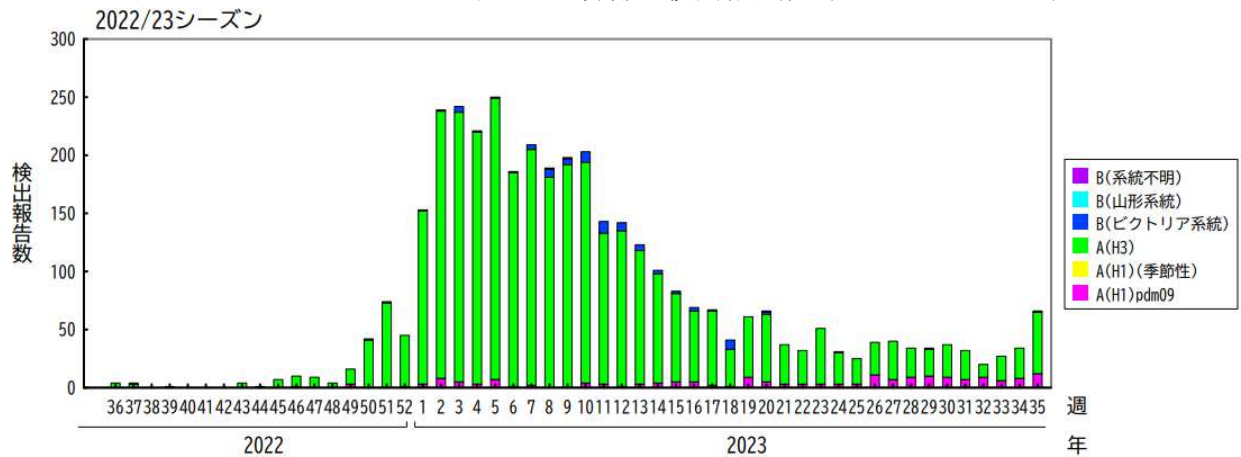


図2 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2022/23シーズン）

2 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体4件(検体採取9月中旬～10月上旬(検体番号230044、230048、230049、230050))について検査を実施したところ、アデノウイルスが3件検出された。検出されたアデノウイルスはアデノウイルス56型が2件、アデノウイルス3型が1件であった。残り1件からアデノウイルスは検出されなかった。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報(11月6日作成)によると、2023年における全国の流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルスについては、アデノウイルス37型が最も多く、次いでアデノウイルス56型が報告されている。(図3)

*各都道府県市の地方衛生研究所等からの分離/検出報告を図に示した

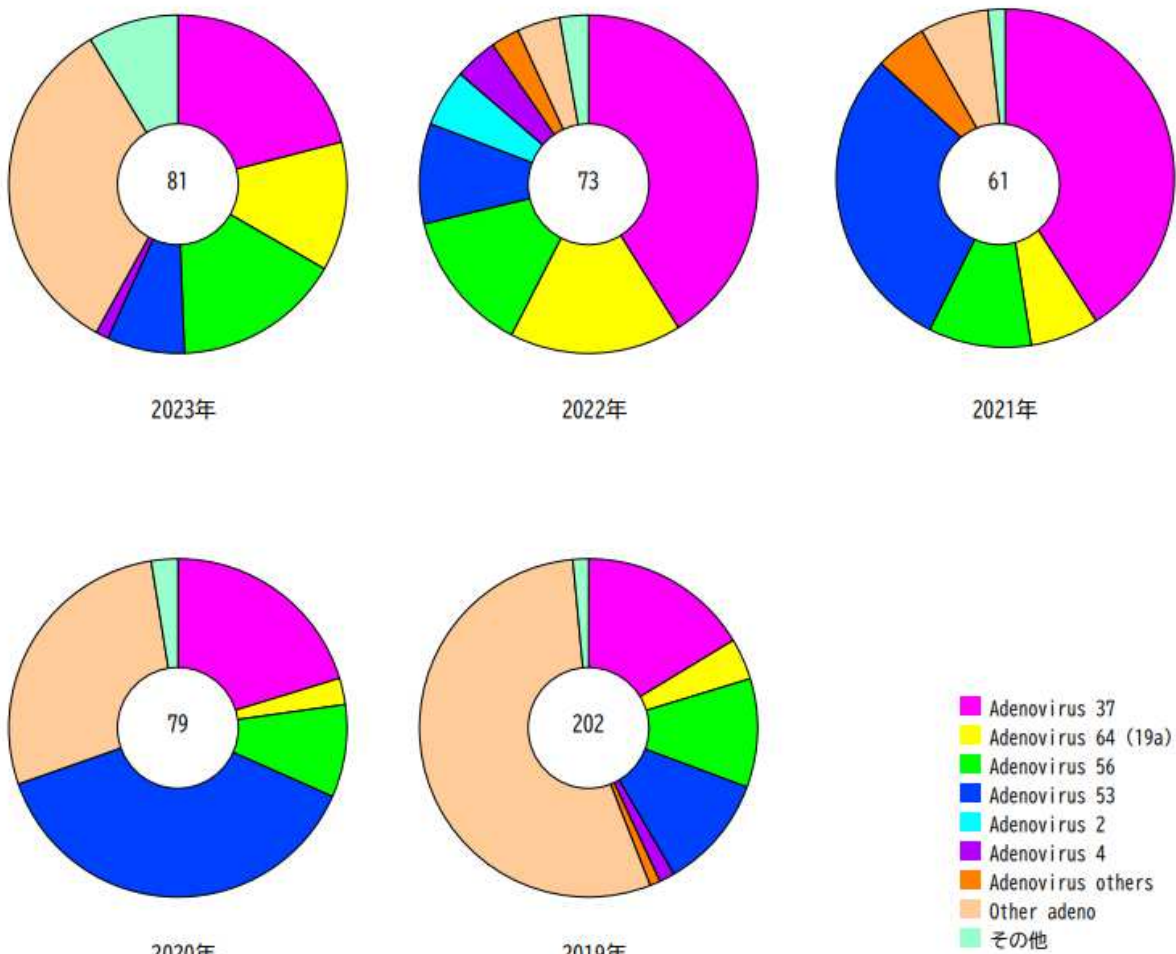


図3 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス (2019年～2023年)

※円グラフの中の数字は年ごとの分離・検出報告の総数

3 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体2件について検査を行ったところ、アデノウイルス3型が1件、エンテロウイルス（型別不明）が1件検出された。（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230046	9月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	アデノ3型	(-)	(-)
230047	9月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 エンテロウイルス型不明
検出計		0件	0件	0件	0件	1件	0件	1件

(-) : 未検出

4 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体1件（検体採取9月上旬（検体番号230043））について検査を実施したところ、エンテロウイルスが検出された。検出されたエンテロウイルスは、型別不明であった。

5 手足口病

臨床診断名が手足口病の検体1件（検体採取9月中旬（検体番号230045））について検査を実施したところ、エンテロウイルスが検出された。検出されたエンテロウイルスについては、型別不明であった。